

東海市地域安全推進協議会会議録

会議の名称 令和6年度（2024年度）第2回東海市地域安全推進協議会
会議の種別 公開
開催日時 令和7年（2025年）2月18日（火）
午後2時から午後3時まで
開催場所 市役所302会議室
出席委員 服部 幹史（会長）、高木 眞子（副会長）、
久野 裕明、中川原 一生、土田 将康、
小島 晴美、磯部 秀人、北村 智春、鯉江 美穂、小野 宗雄、
竹村 昇、荒井 貴徳、阪田 華子、河村 善子
欠席委員 香村 茂、谷村 志浦、蘆田 美絵、秋山 真子
事務局 総務部長、交通防犯課長、交通防犯課統括主任、同主任、同主事補
傍聴人の数 0人

会議の概要

- 1 開会のことば
- 2 市民憲章唱和
- 3 会長あいさつ
- 4 報告事項

(1) 令和6年（2024年）犯罪発生状況について

事務局による資料1の説明

東海警察署地域課長より最近の犯罪に関する傾向についての説明

（地域課長） 令和6年に発生したその他侵入盗27件の内訳として、事務所荒らしが2件、出店荒らしが4件、空き家の被害が21件発生している。

特殊詐欺については、41件発生しており、被害総額としては127,000,000円となっている。

自転車盗については、無施錠での被害が多いという現状となっている。

警察としてもパトロールを実施しているが、地域コミュニティや市が実施している青色回転灯のパトロール車に巡回についても防犯上、非常に重要なものだと考えているため、引き

続き協力をお願いしたい。

(委 員) 特殊詐欺は特定の地域にまとまって発生するものなのか。
(生活安全課長) 名簿や電話番号が犯罪グループに漏れている可能性があり、特定の地域を対象として犯行が行われる場合がある。

(委 員) 被害にあわれた方に対して、実施しているフォロー等はあるか。

(生活安全課長) 民生委員等に高齢者等の犯罪被害にあわれた可能性がある方のところを回る際に、気を配るようお願いしている。

(2) 令和6年度(2024年度)の地域安全活動実績について

事務局・各委員による資料2の説明

4 協議事項

令和7年度(2025年度)の地域安全活動重点施策及び主な事業(案)について

事務局による資料3の説明

(委 員) 昨年名鉄尾張横須賀駅の駅員が無人化されたが、そのことによる自転車盗の犯罪件数への影響はあるか。

(事務局) 令和5年の横須賀地区の自転車盗の発生件数は14件、令和6年の発生件数は21件と7件増加しているが、発生箇所が駅に限定されるものではないため、一概に駅員の無人化による増加とは言えないと考えている。

(副会長) 防犯用具補助事業に関し、市民への周知が行きわたっていないと考えているがどうか。

(事務局) 広報誌による掲載を4月当初に実施しており、今年度も約140件の申請を受けているため、市民の方の認知が行われ始めていると考えている。

(会 長) 補助事業を含め、防犯対策等を周知するためのツールがあると便利のため、作成を検討していただきたい。

5 その他

事務局による資料4の説明

6 閉会のことば